

進学・研究相談会

広島大学大学院 人間社会科学研究科 教育科学専攻 国際教育開発プログラム

酒井 ひかり

研究内容

- 研究タイトル

「ベナン共和国初等教育における芸術教育の実態と課題
—教員の困難に着目して—」

- 要約

研究の目的:

ベナンの芸術教育において、指導時間が確保されない要因を分析し、それらの要因はどのように克服されているかを明らかにする。

研究課題:

- ①教員は芸術教科の指導について、どのような認識を持っているか。
- ②教員は芸術教科の指導において、どのような課題に直面しているか。
- ③教員は芸術教科の指導において、直面する課題をどのように克服しているか。

質問紙調査を現地教員100名に実施し、校長含む教員6名にインタビュー調査を実施した。

研究の進捗

コロナ禍の中、どのように研究を進めてきて、現地調査に行くことができたか

- 現地調査に行くことができる場合とできない場合の研究方法を考えてきた（現地教員に対し、オンラインでのインタビューの検討）
- Google formを利用した事前のオンライン調査
- 現地調査の可否を指導教員に相談

研究の進捗

21/04		21/10		22/01	22/04-05	22/06	今後 22/08	23/01-02
入学								
研究背景 先行研究	→			現地調査 の準備	現地調査	調査結果 の分析	中間発表	修士論文 提出 最終発表

コロナ禍での 現地調査

事前準備

- 渡航許可：渡航の二か月半前に大学へ申請
- 渡航国の状況調査
 - 水際対策
 - PCR検査の有無
 - 外務省HP
 - 大使館のHP
- 準備物
 - レコーダー等
 - 調査に必要な荷物の準備
 - 海外旅行保険への加入
 - 予防接種等の確認(必要な場合のみ)

渡航

- 出国前PCR
- 出国時
- 現地到着

現地調査概要 1

- ①到着後、携帯電話のSIMカード購入、必要なものの購入
- ②幼児・初等教育省への訪問（芸術教科のカリキュラム及び小学校卒業試験合格率入手のため）

- ③調査地（サケテ市）への移動
- ④現地調査開始
 - （i）サケテ視学官事務所を訪問。教育主事などに挨拶、調査内容、スケジュールを伝える。
 - （ii）訪問したい学校の校長先生の電話番号をもらい、調査の可否、訪問可能日時を聞く。
 - （iii）小学校訪問時、まずは校長先生に挨拶、調査目的及び内容を伝える。
 - （iv）調査開始
教員に目の前で回答させると調査がうまくいかなかったので、質問紙を配布し、内容を説明したのち、後日回収（再訪問日時を校長と相談）。生徒に質問紙をしている間に、校長と教員にインタビュー実施。
☆調査資料の保存を忘れない

現地調査概要 2

- 反省点：渡航時期の確認。雨季で雨が多かった。
アンケート回答時、教員同士で相談しあう姿が散見された。
→その後、個人で考えて回答するよう事前に校長から説明してもらうよう促した。
生徒も同様に、他生徒の回答を真似する人を多数発見。
→各々回答するよう、教員から指示出しをしてもらった。
- 良かった点：事前に学会で自身の研究計画を発表。他教授から研究に関する意見をもらったこと。
渡航前に視学官事務所の秘書と連絡を取り合い、調査の概要を伝えておいたことで、スムーズに調査に入ることができた。
- その他：現地の人々はほぼマスクをしておらず、感染対策がなされていなかった。自分なりの対策が必要。
現地の先生方がかなり協力的だった。自身の研究の目的、やりたいことをしっかり話せば理解してくれた。

ご清聴ありがとうございました。